

馬堀海岸地区環境整備検討会

設立趣意書

JR横須賀駅から馬堀海岸を経て観音崎に至る約 10km の区間は、横須賀市における文化行政のシンボルプロジェクトとなる「うみかぜの路」(海と緑の 10,000 メートルプロムナード)事業として、昭和 57 年の「文化の元年」宣言に基づいて昭和 59 年から計画的に整備が進んでいるところである。

この「うみかぜの路」は地域ごとの特色を生かしながら、海と緑を日常生活の中に取り入れ、憩いの空間の創出を目的としている。

また、今般国土交通省より「緑陰道路プロジェクト」が発表された。これは、地域の方々にうるおいを与え、地域の個性を活かした親しみが持てる美しい街並みを形成し、都市の顔として誇れる良質な緑の道路空間を創造するもので、馬堀海岸地区がその指定を受けた。また、海岸部では、平成 7 年、8 年の大型台風による浸水被害を契機とした「横須賀港馬堀地区高潮対策事業」が国土交通省港湾空港部で進められており、これらの事業との連携を図り、当該地区にふさわしい環境整備を行っていく必要がある。

このため、学識経験者、地元住民代表、自治体、関係機関からなる『馬堀海岸地区環境整備検討会』を設置し、本地区にふさわしい緑の空間づくりを進めるため、樹種の選定及び樹木配置の検討を行うものである。